

平成 2 1 年度 実施事業	<b>事務事業名</b> 財団法人登別市文化・スポーツ振興財団運営補助金
-------------------	--------------------------------------

区分	番号	名 称
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち
節	9	
施策	9	
小分類	9	
主要な施策	9	
事務事業番号	002	事務事業コード 59999002 事業開始年度 平成 8 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	財団法人登別市文化・スポーツ振興財団運営補助金
------	------	------------	-------------------------

部 名	教育部	グループ名	社会教育G
-----	-----	-------	-------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

対象	(何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください) 市民
手 段 ( 事 業 の 内 容 ・ 活 動 )	(目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください) 財団法人登別市文化・スポーツ振興財団の運営費を補助する。
目 指 す 姿 ( 成 果 )	(事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください) 文化やスポーツ活動の振興を図る文化・スポーツ振興財団の運営費を補助し、市民のニーズを捉え、質の高い文化やスポーツの場を提供できるよう体制を整える。
根 拠 法 令 等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください) 登別市補助金等の事務取扱に関する規則

指標の推移

区 分		単 位	区 分	21年度 実 績	22年度 目 標	23年度 目 標	24年度 目 標	25年度 目 標
成果 指標	従事者数	人	目標値	4	4	4	4	4
			実績値	4				
			目標値					
			実績値					

事業費の推移

区 分			単位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業 の 財 源 内 訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円	10,950	11,399	11,628	11,628	11,628	34,884
合 計				10,950	11,399	11,628	11,628	11,628	34,884
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	132	139			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		132	139			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 市民の文化やスポーツの振興を図る登別市文化・スポーツ振興財団に補助金を交付し、運営を支援するのは妥当である。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 登別市文化・スポーツ振興財団の活動により、円滑に文化・スポーツ事業が展開されている。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのように向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 市民の潜在的なニーズは多く、創意工夫しながら事業を実施することで、更なる利用が図られると考える。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 市民の文化やスポーツに対するニーズは高まっており、現行の従事者数を考えても事業の展開を図る登別市文化・スポーツ振興財団への補助金の削減は難しい。

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	市民の文化・スポーツへの関心が高まっている中、教室や大会など、スポーツを始めるきっかけを作ることにより、より活発な活動を生むことができる。それらの場を提供するために設立された文化・スポーツ振興財団の運営を支援していく。
----	----------------------	---

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
----	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）